

廿日市市の文芸碑拓本

伝芭蕉句碑

(住吉大明神境内)

表	右
によき 寒き入江かな	弘化丙午三年といふ建立 初冬
と帆はしら はせを	



弘化^{こうかへいご}丙午三年は一八四六年である。

往時潮音寺の境内社であった住吉の神は海上安全守護神として埋立に伴い三度遷座された。昭和五十八年昭北新開県道拡幅の時に、天満宮に向いていたのを海に向けかえた。

赤花崗岩に芭蕉葉が彫られ、芭蕉作と伝えられきたが、古典俳文学大系 芭蕉発句誤伝の部 元禄十年真木柱の句集より、湖春の作とされる。芭蕉は湖春の父季吟の弟子であった。

初冬の湊の賑わいを詠んだこの碑は、萩・横須賀など全国で四ヶ所建立されているようである。



